



アーリントン訪日団来校 7月12日(木)

7月12日(木)、長岡京市と姉妹都市であるアメリカのアーリントンから 中学生3名、高校生15名、引率教員2名の合計20名の訪日団が本校に来校されます。訪日団のメンバーは、10日ほどの滞在日程で、西乙訓高校生や長岡京市の中学生の自宅にホームステイしながら、小・中・高校生と交流をし、京都周辺の様々な場所を訪問されるそうです。

◎交流予定◎

1時間目	異文化理解(3年5組)
2時間目	プラクティカルイングリッシュ(2年5組)
3時間目	化学基礎(2年5組)
4時間目	演劇ワークショップで交流(2年1、2組)
昼休み	体育館で歓迎会
5・6時間目	シャドーイング
7時間目	コミュニケーション英語(1年5組)



米国短期留学報告

6月27日には、今年度アーリントン、シャコピーを訪問した2年生13名が1年生に向けて報告会を行いました。2年生は、自分たちで原稿を書き、プレゼンテーションの資料をつくって、短期留学の経験を伝えてくれました。特に、アメリカのスケールの大きさ、アメリカと日本の高校の違い、そして現地の高校生が自分の意見を持っていることに新鮮な驚きを表現していたのが印象的でした。



台湾南投高級中学との交流を終えて

5月末の台湾南投高級中学との交流はどうでしたか。歓迎会の時に会っただけ、という人も多かったでしょうが、全校生徒でお迎えした後は、2年生を中心に交流しました。大縄で一緒に体を動かし、お茶の講座で日本文化の一部を伝えることもできました。また、英語の授業では西乙訓高校の1年間の行事を紹介しました。なかなかお互いの英語が通じず、困ってしまう場面もありましたが、そこは同じ高校生、笑顔と努力で乗り切る姿をたくさん見ることができました。でも、やっぱり「英語でもっと伝えられたらよかった」と思った人も多かったようです。実際に交流した人たちの感想をいくつか拾ってみます。

お茶など日本ならではの交流がよかったし楽しかった

11月までにもっと英語を話せるようになりたい

- コミュニケーションはやっぱりためらってしまう。でも、話しかけようとしたら向こうもちょくちょく来てくれたので努力しようと思った
- 自分から積極的に交流できなかったけど、全体で友達とかと一緒に楽しめたのでよかったと思う。言葉が違うと交流するのは少し難しかった
- 交流したことにより、台湾への興味がわいた。



平成31年度 米国短期留学について (予定)

- | | |
|---------------|--------------------------|
| ① アーリントン短期留学 | 平成31年4月末～5月上旬 |
| ② シャコピー高校短期留学 | 平成31年4月末～5月上旬 |
| ③ 対象者 現1年生 | * 参加希望者説明会を7月17日(火)に行います |